

無料 法律相談

随時受付中です！一人で悩まず
組合・弁護士にご相談ください
☎03-5390-6021

けんせつ北部

(購読料は組合費の中
に含まれています)
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
板橋 (3963) 5 3 2 5
練馬 (3825) 5 5 2 2
豊島 (3986) 2 4 7 1
※北 (5390) 6 0 2 1
発行人代表者 川合 正人
発行日 1日、9日、17日、25日

	目 標	成 果	残
北 赤 羽	7	9	超2
赤 羽	7	9	超2
西 が 丘	4	4	達成
神 東	9	9	達成
十 央	7	7	達成
豊 王	7	7	達成
北 東	9	12	超3
滝 野 川	6	7	超1
西 ケ 原	6	1	5
直 ・ 事	45	45	0
北 支 部	107	110	超3

祝 月間実績110名！現勢2,670名！ 春の仲間づくり月間・支部目標達成！



西が丘分会の休日行動
2ヵ月間にわたる行動、お疲れさまでした。

4月から始まった春の仲間づくり月間は、5月31日行動をもって終了しました。連日ご奮闘いただいた皆様大変お疲れさまでした。最終7次行動では40群から60人の仲間が行動に参加し、目標まであと3名となっていた神東分会が達成！昨日までに残り1名となっていた中央分会は昨年の月間から対象者としてあがっていた方とセンターで待ち合わせして担当書記が組合説明をし

笑顔で最終 行動日を迎える



このように皆さんの奮闘により支部実績は110名となり目標を超過達成する事が出来ました。仲間のた

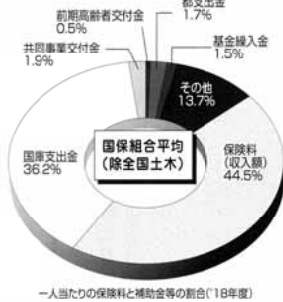
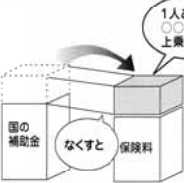


神東分会の駅頭宣伝行動
マイクは書記長の土澤さん

厚労省への 仲間の1人ひとりが参加する 予算要求はがきを出そう！

①国の補助金は、私たちの 保険料に大きく影響します

私たちの建設国保は、補助金と保険料の収入で運営されています。国の補助金が減らされれば私たちの保険料に影響します。



②みなさんの出したハガキの力は、 大きく生かされます

仲間の出したはがきは、厚労省の担当官が1枚1枚点検し、山のように積み上げられたはがきは、予算要求の力となります。



建設国保は、私たちの実態に最も適した制度です

6月からは「仲間とのふれあい月間」として様々な取り組みをすすめていきます。各分会の後継者世代向けのイベント等も企画していますので皆さんの参加を待ちしています。

厚労省や東京都の削減が相次ぐ中、はがき要請行動は国や都に向けてたわし達の生の声であり、土建国保の予算要求に大きな力となっています。

厚労省や東京都の削減が相次ぐ中、はがき要請行動は国や都に向けてたわし達の生の声であり、土建国保の予算要求に大きな力となっています。厚労省や東京都の削減が相次ぐ中、はがき要請行動は国や都に向けてたわし達の生の声であり、土建国保の予算要求に大きな力となっています。

今年度、予算要求の運動は7月7日の予算要求対都行動からスタートし、年末にかけ行動が続きます。6・7月は厚労省へ届けるハガキ要請行動があり、現在、国保を取り巻く状況は厳しく、社会保障費の削減が相次ぐ中、はがき要請行動は国や都に向けてたわし達の生の声であり、土建国保の予算要求に大きな力となっています。厚労省や東京都の削減が相次ぐ中、はがき要請行動は国や都に向けてたわし達の生の声であり、土建国保の予算要求に大きな力となっています。

「全員でできる」大切な取り組みです 予算要求ハガキを出そう！



編集委員をやつて何度目かの「あすか山」毎回何を書こうかと迷っています。今回は私の好きな鉄道・旅・カメラそして車の中から車を選んでみました。初めてのマイカーはブルーバード510スリート。この車には想い出があります。車の情報誌から見つけたのが浜松の人でした。かみさんと新幹線で浜松まで行き、現金38万（昭和51年）相手に渡して東名を転がしてききました。5年ばかり乗り、次は買ったのもブルーバード810EF2.0L装備が良かったので車重があり走りがいマイチ。そこでエンジンを変え改造、加速などバググンでした。が車検が高くなり、12年過ぎると毎年車検なので仕方なく手放しました。が、あの加速は今でも忘れられませ



どけん火災共済

みんなで加入して 木造 年間3,000円
助け合いの輪を広げよう! 鉄筋なら1,500円で
20年間変わらない安い掛け金! 最大500万円の保証

家を借りる時に保険に入ったから大丈夫!?

それは大家さんの建物を保障する賠償保険かも!
家財が対象になっているか確認してください。

住宅ローンを借りる時に火災保険に入ったから大丈夫!?

火災保険は住宅と家財で保障の対象が違います。
ローンの際に加入したのは住宅部分の保険かも。
家財部分の保障があるか確認を!

地震共済にもご加入ください!

地震が原因で火事になっても火災共済では保証されません。
地震共済で生活再建に必要な保証を備えましょう。

木造 年間6,600円
鉄筋なら4,000円で
全壊時200万円の保証



家づくりの後継者、建築のスペシャリストを養成

東京建築カレッジ

東京土建が設立運営する学校

入学・就職相談受付中

- 実習を中心に伝統技術を学ぶ
- 構造設計、コンピューターCADも学習
- 登校日、毎週金・土の2年制

応募資格 18歳以上、働きながら学ぶ意欲のある方
入学金 10万円
授業料 月額3万1千円
雇用保険加入者は賃金助成制度適用

職業能力開発短期大学校 東京建築カレッジ
東京都豊島区池袋1-8-6 ☎03-5950-1771

第94回中央メーデー 労働者の団結と要求を発信!



集会の最後は団結ガンバローで締め。
各団体から参加者も多数。以前のようなメーデーに。

5月1日(月) 参加者が集まり、
代々木公園で、恒
例の中央メーデー
が大規模に開催さ
れました。労働者
の団結と要求を示
すため、数千人の
参加者が集まり、
労働者の権利につ
いての意識を高め
ました。
中央メーデー
は、国際的な労働
者の祝日であり、
労働条件の改善や
社会的な問題に対
する声を上げる場
として重要視され
ています。代々木
公園では、労働組
合や政治団体、市
民団体などが共同
してイベントを企
画し、参加者が自
らの主張を表明し
ました。
代々木公園内では、
ステージやブ
ースが設置され、
労働条件や労働法
に関する相談や啓
発活動が行われま
した。参加者たち
は団結し、労働者
の権利を守るため
の声を大きく発信



北支部もデコカー作成しのデモに参加しました。
前日までは雨でしたが当日は良い天気にも恵まれました。

コロナ禍を越え 以前のようなメーデーに

しました。
今回の中央メー
デーも、労働者の
結束と要求を示す
重要なイベントと
なりました。
集会後は代々木
から青山までのパ
レードとなりました。
今年から各支
部のこの日
の参加者は46名で
した。

自転車保険



6月末から給付が大幅に改善されます

どけん共済会自
転車保険の事故給
付保障が6月30日
から改善されま
す。

最近の給付では
交通事故は高齢者
世代、賠償責任保

主な改善点とし
て、①通院保険日
額(本人)が1日
1200円から2
500円へ倍増、
②入院手術(本
人)4万円から7
万円、③外来手術
(本人)2万円か
ら3万5000
円、④賠償責任保
険(個人型)1億
円から2億円へ、
配偶者やその他の

2023年5月31日まで			
	組合員	配偶者	その他の家族
入院日額	1200円	1200円	500円
入院手術	40000円	40000円	30000円
外来手術	20000円	20000円	15000円
賠償(個人)	1億円		
2023年6月1日以降			
	組合員	配偶者	その他の家族
入院日額(新)	2500円	2500円	1500円
入院手術(新)	70000円	70000円	45000円
外来手術(新)	35000円	35000円	22500円
賠償(個人)	2億円		

除では組合員の子
どもの事例が多く
発生しています。
保険料はそのま
まで補償内容が改
善されています。
東京都で自転車に
乗る方は、保険加
入が義務となつて
います。この機会
に自転車保険に加
入しましょう。
なお、自転車以
外の交通乗用具に
よる事故の入院補
償は対象外になり
ますのでご注意ください。



みんなで防ぐ熱中症

熱中症にならない! させない!

いまや熱中症予防策は建設現場において必須事項で、現場での熱中症は“労災保険”の対象にもなります。予防対策は個人に任せるのではなく、管理者を含め現場全体で熱中症に対する知識を身につけて、予防策を実施しましょう。
※熱中症予防教育を受講しましょう。

定期的な休憩
管理者による作業の管理

水分と塩分の補給
経口補水液、水、塩飴

通気性の良い作業着
空調服、冷感ベスト

暑さ指数(WBGT)を活用しよう!
WBGT測定器で現場の適切な温度管理を

日常的健康管理
バランスの良い食事(お弁当)、睡眠、酒量管理

症状と重症度

I度【軽度】	めまい、立ちくらみ、筋肉痛・筋肉の硬直
II度【中度】	頭痛、吐き気、嘔吐、下痢、倦怠感、虚脱感、失神、不快感、判断力や集中力の低下
III度【重度】	高体温、意識障害、けいれん、手足の運動障害、おかしな言動や行動、過呼吸、ショック症状

少しでも異変を感じたら…一人での作業中には注意

- 「大丈夫?」はダメ! どんな具合か声をかける
- いったん作業を止め、休憩する
- 病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- 病院へ運ぶまでは一人きりにしない